

バージョン 2021.11 における新機能

InfoWorks® WS Pro 2021.11 では、以前のバージョンで使用できなかった新機能は追加されています。変更点と改善点の詳細については、製品リリースノートをご覧ください。

バージョン 2021.10 における新機能

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、InfoWorks® WS Pro 2021.10 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

なお、この新バージョンには、ここで詳しく説明されていない様々な機能強化やバグ修正が含まれています。

新しい需要カテゴリタイプが追加: Equivalent Persons

新しい **需要カテゴリ** タイプ: **Equivalent Persons** が追加されました。このカテゴリタイプでは、**プロパティ数** フィールドと同様の方法で特定消費フィールドと連動する **Number of Equivalent Persons** フィールドを使用します。このフィールドは、浮動小数点値を入力することができ、非整数の値を特定消費に乘じることが可能です。この方法では、特定消費フィールドを複数のカテゴリタイプに使用することができ、追加フィールドが不要になります。このことから、単位はリットル/プロパティ/日またはリットル/人/日のいずれかとなります。

Equivalent Persons カテゴリタイプは、**ノードデータフィールド**、**顧客ポイントデータフィールド**、**需要調整グリッド** ウィンドウ、**代替需要データフィールド**、**ノード需要ウィンドウ**、**カテゴリ別ノード需要**、**静的需要配分** で使用することが可能です。

カテゴリ ID	カテゴリタイプ	ソース	Equiv. Persons	プロパティ数	平均需要 (l/s)	直接需要係数	特定消費 (l/p/day)
DMA35DOM	Property	Customer Point		1			250.00

Property
Average
Direct
Equivalent Persons

Produce Graph OK Cancel

ロングセクションビューに複数のシミュレーション結果が表示されるように

モデル内のシナリオを使用する場合、**ロングセクション** ビューに複数のシミュレーション結果を表示できるようになりました。これにより、シミュレーション結果の比較が容易になり、より良いネットワーク管理のための調整を行うことが可能となります。

フラグフィールドに 4 文字まで入力が可能に

フラグフィールドのサイズが 2 文字から 4 文字になり、より長い値を入力できるようになりました。プロパティダイアログのフラグドロップダウンメニューも改善され、より長い文字に対応できるよう幅が広くなりました。

需要エリアダイアログの流量/水圧タブの表示が改善

需要エリアダイアログの **流量/水圧タブ** では、合計流入量、合計流出量、純流入量が異なる色で表示され、これらの値を簡単に識別できるよう改善されました。これは、特に、需要エリアライブデータ分析の出力をグラフフォーマットで確認することが出来るため、便利です。

バージョン 2021.9 における新機能

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、InfoWorks WS Pro 2021.9 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

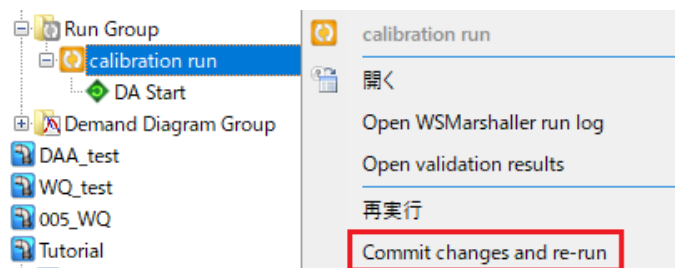
なお、この新バージョンには、ここで詳しく説明されていない様々な機能強化やバグ修正が含まれています。

バルブとコントロールバルブのグリッドページが統合

バルブ グリッドページに、コントロールバルブとその他すべての非コントロールバルブが表示されるようになりました。これにより、コントロールバルブから非コントロールバルブへ、あるいはその逆へ変更する際の混乱を避けられます。

変更を確定して再実行オプションが追加に

変更を確定して再実行 オプションが追加され、ワンクリックでネットワークやコントロールの変更を確定し、その後に自動でランを実行することが可能となりました。これにより、特定のシナリオやベースに対して変更を確定してシミュレーションを実行するという複数の手順を簡略化することが可能です。このツールを使うことで、特に様々なシナリオで作業する際に、結果の表示や分析がより迅速に行えるようになります。



WatSed 堆積作用シミュレーションのサポートが廃止に

InfoWorks WS Pro 2021.8 より [WatSed](#) シミュレーションがサポートされなくなりました。ただし、以前のバージョンのアプリケーションで行われた既存の WatSed ランは、結果を確認することが可能です。

「InfoWorks について」ウィンドウの表示内容が変更

[InfoWorks について](#) ウィンドウが Autodesk のシステムに従って更新されました。現在インストールされているソフトウェアに関するライセンスの使用許諾情報、バージョン番号、およびドングルまたはサーバーから読み取ったライセンス名が表示されるようになりました。

これまで InfoWorks についてボックスに表示されていたライセンス番号、使用している OS のバージョン、マスターデータベースの名前と場所などは、新しい Additional Information ウィンドウに表示されるようになりました。このウィンドウは、InfoWorks についてボックス内の Additional Information ボタンをクリックすると表示されます。

WS Pro Exchange がシナリオをサポートするように

本バージョンより、WS Pro Exchange は [シナリオ](#) をサポートするようになりました。シナリオでは、分岐したネットワークを個別に作成することなく、ネットワークの様々なパターンを同時にモデル化することが可能です。様々なパラメータ（管渠のサイズ、材質など）がシミュレーションに与える影響を調べるために使用可能な、非常に便利なツールです。

WS Pro Viewer で移動可能データベースを開きコピーすることが可能に

InfoWorks WS Pro の機能と同様に、WS Pro Viewer で移動可能データベースを開いてコピーすることが可能になりました。詳細は [copying data between databases](#) をご覧ください。

バージョン 2021.8 における新機能

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、InfoWorks WS Pro 2021.8 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

なお、この新バージョンには、ここで詳しく説明されていない様々な機能強化やバグ修正が含まれています。

シナリオ機能が追加に

[シナリオ](#) 機能を利用することで、分岐したネットワークを個別に作成することなく、ネットワークの様々なパターンを同時にモデル化することが可能となりました。様々なパラメータ（管渠のサイズ、材質など）がシミュレーションに与える影響を調べるために使用可能な、非常に便利なツールです。

例えば、既存の街の南東に新しい住宅地が計画された場合、新しい不動産を既存の水道管網に接続するためのオプション評価のため、実現可能性を解析することが可能です。ベースとなるネットワークは現在の状態のネットワークであり、各計画オプションはシナリオとして追加することが可能です。

バージョン 2021.7 における新機能

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、InfoWorks WS Pro 2021.7 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

なお、この新バージョンには、ここで詳しく説明されていない様々な機能強化やバグ修正が含まれています。

「貼り付けと統合モデルへの変換」オプションが追加に

貼り付けと統合モデルへの変換 オプションを使用することで、データベースまたはモデルグループ全体を、統合バージョン管理を使用するように変換することが可能です。

これまでは、単一のネットワーク（または他のバージョン管理オブジェクト）を「ロック」から「統合」に移行するには、「複製」メニューオプションを使用することで可能でしたが、これはあまり便利ではありません。**貼り付けと統合モデルへの変換** オプションを用いると、オブジェクトのツリー全体が変換され、ランオブジェクトとベースライン内の参照が調整されるようになりました。この方法では、モデルグループのコピーが作成され、元のモデルグループは変更されないまま残ります。そのため、この新機能により、「ロック」モデルから「統合」モデルへの移行が迅速に行えるようになりました。